“あの人はどこ？”で、もう困らない！
メガプレートオフィスで社員の居場所を見える化

株式会社梓設計

業種	設計業･デザイン業
従業員数	625名
ご担当者	情報システム部 主任 出井秀明氏 総務部 総務G グループリーダー 山口功二氏

課題・背景	効果
本社移転に伴うフリーアドレス化	本社だけでなく、 支社や事業所のフリーアドレス化も実現
オフィス内で 「誰がどこにいるのかわからない」	社員が互いの居場所を 簡単に把握可能に
コロナ禍でのテレワークの増加	在宅でも、社員との 円滑なコミュニケーションが可能に

2019年8月に本社機能を移転した梓設計は、社内全体を容易に見渡せる空間を作り、フリーアドレス制と併用することでフラットなコミュニケーションを促す「メガプレートオフィス」を採用。

フリーアドレス化には、位置情報の表示が必要不可欠

梓設計は、移転前の旧オフィスにおいて4年前から段階的にフリーアドレス制を導入、実践してきた。そこで顕在化したのが「誰がどこにいるのかわからない」という課題だ。メガプレートへの移転と全社員フリーアドレス化を控え、社員が互いに居場所を簡単に把握できるシステムの導入が不可欠だった。

支社にも展開、本社との連絡も便利に

PHONE APPLI PLACE(旧:居場所わかるくん)を採用する決め手となった理由の1つが、Wi-Fiで位置を特定できることだった。ビーコンだけでなく、Wi-Fiによる位置検出にも対応するうえ、梓設計が採用しているシスコシステムズのネットワークインフラ「Cisco Meraki」をサポートしていた。

同僚や上司・部下に連絡をとりたい場合は、iPhoneのアプリ画面から相手を検索すると、オフィスレイアウト図の上に現在位置が表示される。出社していることを確認したうえで電話することができ、もちろん直接会いにいく場合でも迷うことはない。

新本社に導入したこの仕組みは、その後、支社・事業所にも展開した。支社も含めて全員がiPhoneを持ち、Wi-Fiもあるので問題なく導入。支社から本社の社員に電話をかけるときにもすごく便利だと、よく使われている。

コロナ禍でのテレワーク時も「本社にいる・いない」が即座にわかる

オフィス環境を整える一方で、梓設計ではテレワークやサテライトオフィスを活用した働き方も志向している。新型コロナウイルス感染症の拡大により期せずしてその取り組みが加速した。緊急事態宣言下では必要最小限の社員のみ出社し、基本は完全在宅。解除後も在宅を推奨しており、現在は出社率が4割程度。

そんなコロナ禍においても、PHONE APPLI PLACE(旧:居場所わかるくん)をはじめとするITツールは貢献している。「移転と同時にノートPCを配布し、社外からもアクセスして働ける環境を目指していたので、ほぼそのまま対応できた。iPhoneで簡単に社員の位置が把握できるので、在宅で働くときもオフィスに誰がいるのか、いないのかが明確にわかる。それだけでも使う理由がある」と評価する。

メガプレートへの移転と全社フリーアドレスの導入に加えて、大量の社員がテレワークに移行するという大きな変化を経験するなか、通常であれば社員は少なからぬ不安を抱えることとなっただろう。そこに安心感を与えることができた。このオフィスには社員の安心感が必要で、『誰がどこにいるのか把握したい』という要望に移転時から応えることができた。

Web 電話帳クラウドサービス

PHONE APPLI PEOPLE (旧：連絡とれるくん)

人の価値を高め、生産性を向上させる“人”中心のクラウドサービスです。
キーワードやスキルで社内の専門家を、名刺データからお客様を簡単に探しだし、最適なコミュニケーション(チャット、メール、電話、Web会議)がとれ、コラボレーションを活性化させます。大手企業を中心に150万ライセンス活用されています。

※出典:MM総研「Web 統合電話帳アプリケーションの市場規模調査」(2020年7月)

フォンアプリ | https://phoneappli.net/product/service/papeople/